

平成26年度

北大リサーチ&ビジネスパーク
先端分析機器等トライアル支援事業

応募要領

北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会

北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会構成機関

国立大学法人北海道大学、地方独立行政法人北海道立総合研究機構、

独立行政法人産業技術総合研究所北海道センター、北海道経済産業局、北海道開発局

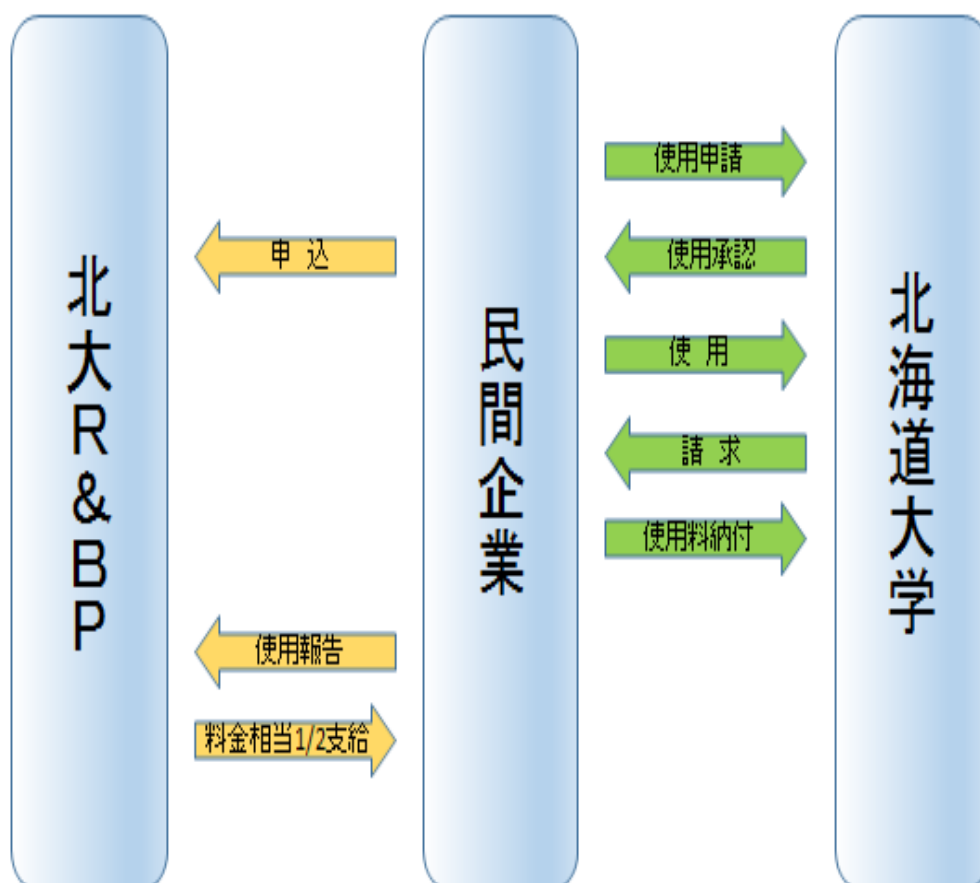
北海道、札幌市、北海道経済連合会、株式会社日本政策投資銀行北海道支店

独立行政法人中小企業基盤整備機構北海道本部、独立行政法人科学技術振興機構

公益財団法人北海道科学技術総合振興センター

北大リサーチ&ビジネスパーク 先端分析機器等トライアル支援事業

北海道大学が所有する開放機器を、民間企業等が使用する場合に、その使用料相当額の一部（2分の1）を、北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会（以下、「北大 R&BP」という。）が助成いたします。



*北大 R&BP とは

北大 R & B P では、産学官の協働により北海道大学北キャンパス周辺エリアに、良好な研究環境とビジネス環境を整備し、研究開発の促進と大学等が保有する知的資産の有効活用によって、新技術・新製品の開発やベンチャー企業・新産業の創出を図り、北海道経済・産業の活性化を図る北大リサーチ&ビジネスパーク構想を推進しています。

「北大リサーチ&ビジネスパーク 先端分析機器等トライアル支援事業」では、北海道大学が所有し外部の者が使用することができる分析機器等（以下、「開放機器」という。）の積極的な利用を支援します。（URL：<http://www.hokudai-rbp.jp>）

北大リサーチ&ビジネスパーク

先端分析機器等トライアル支援事業応募要領

1 対象要件等

【事業の目的】

- 北海道大学が所有する開放機器の使用料相当額の一部を、北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会（以下、「北大R&BP」という。）が負担することにより、開放機器の周知・利用を促進し、北海道大学北キャンパス周辺エリアへの研究施設・企業の集積に資することを目的とします。

【対象者】

- 日本国内に本店または主たる事務所を有する民間企業等（起業を目指している個人を含む）を対象とします。

【対象要件】

- 北海道大学が所有する開放機器を対象者が使用する場合とします。
- 対象となる開放機器の使用期間は、平成27年3月末日までとします。

【助成内容】

- 開放機器の使用料相当額の2分の1（100円未満切り捨て）を助成します。
- 1回の申し込みにつき5万円を助成上限とします。
- 同一事業所による平成26年度の事業の利用は2回までとします。
- 他の公的助成制度（国や地方公共団体所管の助成制度、独立行政法人所管の助成制度等）との併用はできません。

【助成予定件数】

- 10件程度とし予算の範囲内で助成します。
- 事業利用の申し込み（様式1）があり開放機器の使用後（使用料を納付済）に、利用報告書（様式2）の提出のあったものから、順次助成します。
- 利用報告書は、平成27年5月末日までに提出されたものを対象とします。

2 手続き

【提出書類】

・開放機器の使用前

北海道大学に開放機器の使用を申し込み、承認を受けた後に、遅滞なく北大R&BP事務局へ次の書類を提出してください。

○様式1「北大リサーチ&ビジネスパーク先端分析機器等トライアル支援事業 申込書」

○北海道大学に提出した「使用申請書」の写し。

＊北海道大学「オープンファシリティ使用申請書」の写しなど

＊北海道大学の使用承認印が押印されているものを提出願います。

・開放機器の使用後

開放機器の使用が完了し、使用料を北海道大学に納付した後に、遅滞なく北大R&BP事務局へ次の書類を提出してください。

○様式2「北大リサーチ&ビジネスパーク先端分析機器等トライアル支援事業 利用報告書」

○北海道大学が発行する「請求書及び内訳書」、「振込依頼書」の写し

＊使用者名、使用機器名、使用年月日、納付済使用料金が確認できるもの

【提出期間】

- 様式1及び様式2は随時、受け付けます。ただし、様式2は平成27年5月末日を締め切りとします。

【提出方法及び提出先】

- 提出書類（様式1及び様式2及び添付書類）は、郵送又は持参で提出してください。
- 北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会事務局
〒001-0021 北海道札幌市北区北21条西12丁目 コラボほっかいどう
公益財団法人北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）内

【報告から支払いまで】

- 様式2及び添付書類の内容を確認後、使用料相当額の2分の1（上限5万円）を申込者の口座にお支払いします。
- 様式2の受理からお支払いまでの期間は、概ね2週間です。

3 留意事項

- 事務局からの助成金の支払後に、応募要領に定める対象要件を満たさないことが確認された場合は、お支払いした助成金を返納していただくことがあります。
- 助成金の支払いは、予算の範囲内において利用報告書（様式2）の提出のあったものから先着順に実施いたしますので、申し込みをいただいても支払われないことがあります。その場合は、事務局よりご連絡いたします。
- 当事業の利用者名、課題名、成果（様式2に記載）については、北大R&BP事務局が出展する展示会等で概要を紹介させていただくことがあります。
*北海道大学との間で、開放機器の利用について、当事業の利用者名、課題名、成果を非公開としている場合は、紹介はいたしません。
- 当事業をご利用いただいた方には、事務局からイベント案内やアンケート調査への協力依頼、展示会への出展のご案内等を行うことがありますので、可能な範囲でのご協力をお願いいたします。

お問い合わせ先

【事業について】

北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会事務局
〒001-0021 北海道札幌市北区北21条西12丁目 コラボほっかいどう
公益財団法人北海道科学技術総合振興センター内
電話 011-708-6536 FAX 011-747-1911
E-mail info_r@hokudai-rbp.jp URL <http://www.hokudai-rbp.jp/>

様式1

北大リサーチ&ビジネスパーク
先端分析機器等トライアル支援事業 申込書

平成 年 月 日

北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会
事務局長 様

申込者住所（法人にあっては事業所所在地）

申込者氏名（法人にあっては名称及び使用責任者）

印

連絡先電話番号

連絡先 E-mail

法人にあっては担当部署名及び担当者名

先端分析機器等トライアル支援事業応募要領を承諾の上、次のとおり標記事業に申し込みます。

記

1 使用予定期間
平成 年 月 日から平成 年 月 日まで

2 使用予定の開放機器名等
(1) 機関名
(2) 機器名

3 使用予定料金
円

4 使用目的

5 申込者（事業所）の事業の利用回数
回目

添付書類

○北海道大学に提出した「使用申請書」の写し。

＊北海道大学「オープンファシリティ使用申請書」の写しなど

＊北海道大学の使用承認印が押印されているものを提出願います。

様式2

北大リサーチ&ビジネスパーク
先端分析機器等トライアル支援事業 利用報告書

平成 年 月 日

北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会
事務局長 様

申込者住所（法人にあっては事業所所在地）

申込者氏名（法人にあっては名称及び使用責任者）

印

連絡先電話番号
連絡先 e-mail
法人にあっては担当部署名及び担当者名

次のとおり標記事業の利用結果を報告します。

記

- 1 使用期間
平成 年 月 日から平成 年 月 日まで
- 2 使用した開放機器名等
(1) 機関名
(2) 機器名
- 3 使用料金
円
- 4 支払口座
(1) 金融機関名及び支店名
(2) 口座種類 1 普通 2 当座 （該当番号を○で囲む）
(3) 口座番号
(4) 口座名
(5) 口座名（カタカナ）
- 5 利用者名、課題名、成果等の紹介について
即時紹介可能 不可（理由： ）
- 6 その他（利用成果、事業に対する意見・感想、要望など）

添付書類

○北海道大学が発行する「請求書及び内訳書」、「振込依頼書」の写し
＊使用者名、使用機器名、使用年月日、納付済使用料金が確認できるもの

北大リサーチ&ビジネスパーク
先端分析機器等トライアル支援事業 申込書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会
事務局長 様

解放機器を使用する
使用者の代表となり、
使用料支払いの責任
を負う方を記載して
ください。

申込者住所（法人にあっては事業所所在地）
北海道札幌市北区北〇条西〇丁目

申込者氏名（法人にあっては名称及び使用責任者）
株式会社 〇〇 △△支社
新製品開発部長 〇〇〇〇

印

連絡先電話番号 012-345-6789
連絡先 e-mail marumaru@xxxxxxx.jp
法人にあっては担当部署名及び担当者名
新製品開発部 △△△△

先端分析機器等トライアル支援事業応募要領を承諾の上、次のとおり標記事業に申し込みます。

記

*北海道大学に提出した申請書に沿って記入してください。

- 1 使用予定期間
平成〇〇年〇〇月〇〇日から平成〇〇年〇〇月〇〇日まで
- 2 使用予定の開放機器名等
(1) 機関名 〇〇研究所〇〇センター
(2) 機器名 〇〇顕微鏡
- 3 使用予定料金
〇〇〇〇 円
- 4 使用目的
～〇〇～を～〇〇～するため、〇〇顕微鏡を使用し～〇〇～する。
- 5 申込者（事業所）の事業の利用回数
2 回目

添付書類

- 北海道大学に提出した「使用申請書」の写し。
*北海道大学「オープンファシリティ使用申請書」の写しなど
*北海道大学の使用承認印が押印されているものを提出願います。

北大リサーチ&ビジネスパーク
先端分析機器等トライアル支援事業 利用報告書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会
事務局長 様

開放機器を使用する
使用者の代表となり、
使用料支払いの責任
を負う方を記載して
ください。

申込者住所（法人にあっては事業所所在地）
北海道札幌市北区北〇条西〇丁目

申込者氏名（法人にあっては名称及び使用責任者）
株式会社 〇〇 △△支社
新製品開発部長 〇〇〇〇

印

連絡先電話番号 012-345-6789
連絡先 e-mail marumaru@xxxxxxx.jp
法人にあっては担当部署名及び担当者名
新製品開発部 △△△△

次のとおり標記事業の利用による成果を報告します。

記

- 1 使用期間
平成〇〇年〇〇月〇〇日から平成〇〇年〇〇月〇〇日まで
- 2 使用した開放機器名等
(1) 機関名 〇〇研究所〇〇センター
(2) 機器名 〇〇顕微鏡
- 3 使用料金
〇〇〇〇 円
- 4 支払口座
(1) 金融機関名及び支店名 〇〇銀行 〇〇支店
(2) 口座種類 1 普通 2 当座（該当番号を○で囲む）
(3) 口座番号 0123456
(4) 口座名 株式会社〇〇〇〇
(5) 口座名（カタカナ） カブシキガイシャマルマルマルマル
- 5 利用者名、課題名、成果等の紹介について
即時紹介可能 不可（理由：)
- 6 その他（利用成果、事業に対する意見・感想、要望など）
〇〇〇〇〇 ~ 〇〇〇〇 ~

自由記載です。
今後の事業改善のため、ご意見ご
感想、ご要望等、お聞かせくださ
い。

添付書類
○北海道大学が発行する「請求書及び内訳書」、「振込依頼書」の写し
*使用者名、使用機器名、使用年月日、納付済使用料金が確認できるもの

(整理すべき事項)

○平成26年度【企画書】、実施要領、応募要領の修正について
見え消し及び清書版で作成

○連携機関について（確認）

平成26年度も北海道大学の開放機器を対象とする

他機関の状況

他機関の開放機器（道総研、産総研）についても当該事業への参加を働きかけているが、各機関はPRなど各機関内部の自助努力で利用率向上を目指すのが優先であり、次期尚早との判断から、今年度の参加を見送っている。

○予算額

平成26年度の予算計上額（50万円）をもとに、昨年100万円から50万円へ修正

＊昨年は11月から開始し、3月までの4か月間で募集は1件。

○パンフレットについて

当該事業とともに、北海道大学オープンファシリティの紹介を合わせて記載したパンフを作成するなど、北海道大学と協議のうえ作成する。

【検討例】

- ・北大オープンファシリティの概要の記載
- ・貸出実験装置の写真等の組み入れ（可視化）

○開放機器の内容について

詳細別紙

開放機器利用可能な事業は、把握しているもので、次のとおり

- ・北海道大学オープンファシリティ
- ・ナノテクノロジープラットフォーム
- ・先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業

○大学の窓口について

開放機器の運営体制が今年度から大幅に変更されている模様。